

平成28年度 評点分布

看護小規模多機能型居宅介護

※評点基準 A…標準項目をすべて満たした状態 B…標準項目をひとつでも満たしていない状態
C…標準項目をひとつも満たしていない状態

評価項目	評価項目名称	A	B	C	非該当
3-1-1	利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)	100%	0%	0%	0%
4-2-1	利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる	100%	0%	0%	0%
6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	100%	0%	0%	0%
6-2-1	サービスの開始にあたり利用者等に説明し、同意を得ている	100%	0%	0%	0%
6-2-2	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている	100%	0%	0%	0%
6-3-1	定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している	100%	0%	0%	0%
6-3-2	利用者等の希望と関係者の意見を取り入れた個別の計画を作成している	100%	0%	0%	0%
6-3-3	利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している	100%	0%	0%	0%
6-3-4	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している	100%	0%	0%	0%
6-4-1	看護小規模多機能型居宅介護計画に基づいて自立生活が営めるよう支援を行っている	100%	0%	0%	0%
6-4-2	在宅生活を継続するために、利用者一人ひとりの状態や家族の状況に応じて、柔軟な支援を行っている	100%	0%	0%	0%
6-4-3	利用者の心身の状況の変化に応じて、健康の維持や終末期の生活を支える支援を行っている	100%	0%	0%	0%
6-4-4	看護サービスは、主治医との連携のもと安全に適切な方法で行われている	100%	0%	0%	0%
6-4-5	事業所内におけるサービス提供時には、利用者の主体性を尊重し、楽しく快適になるような取り組みを行っている	100%	0%	0%	0%
6-4-6	事業所と家族との交流・連携を図っている	100%	0%	0%	0%
6-4-7	利用者が地域で暮らし続けるため、地域と連携して支援を行っている	100%	0%	0%	0%
6-5-1	利用者のプライバシー保護を徹底している	100%	0%	0%	0%
6-5-2	サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している	100%	0%	0%	0%
6-6-1	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている	100%	0%	0%	0%
6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている	100%	0%	0%	0%

平成28年度 評点分布
看護小規模多機能型居宅介護

※評点基準 A…標準項目をすべて満たした状態 B…標準項目をひとつでも満たしていない状態
 C…標準項目をひとつも満たしていない状態

評価項目	評価項目名称	A	B	C	非該当
6-6-3	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している	100%	0%	0%	0%